

海外リスク対応の内部監査の戦略と進め方

日本企業が手薄な海外リスク対応 - 内部監査の関わり方と実務展開

◆事例に学ぶわかりやすく説得力のある海外内部監査の対応策と実施上のコツ◆

- 日時 ● 2018年7月24日(火) 10:00~17:00
- 会場 ● 東京・飯田橋 『日本出版クラブ会館』
- 講師 ● 藤井 範彰氏 公認会計士・公認内部監査人・米国公認会計士(現在 inactive)

●プログラム●

【ご経歴】

大手監査法人(E&Y及びアンダーセン)で20年近く会計監査に従事し、監査法人内の監査アプローチの研修・普及活動や公認会計士協会本部の活動(国際委員会副委員長、会計制度委員会副委員長、監査基準委員会委員他)にも専念。続く10余年は、内部監査、内部統制、リスクマネジメント、不正調査等に特化し、アンダーセン消滅後はPwC(中央青山監査法人)で活動した後、J-SOXの制度化を前に復帰した新日本監査法人(E&Y)では内部統制支援本部統括部長、ビジネスリスクサービス部長、FIDS(不正対策・係争サポート)部長等を歴任し、2012年、シニアパートナーを早期退任して、ボルボ・グループで日本の内部監査統括および同グループ会社UDトラックス(株)の監査役に就任。現在も監査役業務を続けながら藤井範彰公認会計士事務所代表として監査や不正対応関連の講演や研修及び執筆活動に従事している。

最近の著書『内部監査のプロが書く監査報告書の指摘事項と改善提案』(同文館出版2016年11月)で2017年度日本内部監査協会青木賞受賞。他に、著書「内部監査の課題解決法20」(税務経理協会)、編著「内部統制の実務Q&A」新日本監査法人編(東洋経済新報社)や論文「内部監査報告書の本質論と実務対応」日本内部監査協会「月刊監査研究」2017年5月号、「海外監査の検討課題」同2013年11月号、「リスクマネジメントに対する内部監査の対応」同2012年3月号など多数。

【開催に当たり - 藤井講師からのメッセージ】

◆企業の海外リスク対応において内部監査はいかに経営に貢献するか

経営の国際化が進みグローバルな視点からのリスク管理やガバナンスの重要性が増す一方で、日本企業の海外リスク対応の遅れが目立っています。海外事業の内部監査が増えたとは言え、定型的な業務監査が多く、海外固有の戦略的な対応はあまり見られません。手薄になりがちな日本企業の海外リスク対応に対して、経営を支える内部監査としては、何をすればよいか、これが今回の課題です。まずは日本企業に一般に見られる海外リスク対応の問題点を検討します。それから、従来型の海外監査のどこに問題があるかを整理した上で、戦略的に何をしに海外に行くかという監査の目的や戦略を、業務領域だけでなくガバナンスやリスク管理、更には企業風土対応などの経営監査領域も広く視野に入れて対応策を解説します。

◆失敗しない海外監査の進め方の実務解説

海外子会社の内部監査には言葉の壁や法制度や文化の違いなど国内とは勝手が違う難しさがあるため、一段と高い監査の対応能力が求められます。こうした海外監査の対応スキルや知識はそれだけでも準備が大変ですが、進め方にはコツがあって、問題となりやすい課題ごとに対応策を講ずることで失敗を避け、監査の出来栄も良くなります。今回は海外監査の中でも一般的な海外出張型の内部監査を中心に、海外監査を成功に導く実務上の留意点を解説します。とりわけ海外で問題になりやすい事項を想定して、監査の事前準備から計画、往査および報告までの全工程を視野に入れて事例を含めて検討していきます。その中で海外に特徴的なリスクや監査上の取り扱い方法を事例を挙げて紹介します。併せて、中長期的な視点からの海外監査の監査体制のあり方も海外出張型からグローバル監査体制までを視野に入れて解説いたします。

●参加要領●

●受講料：1名(資料代・喫茶含む)

正会員	43,200円	一般	46,440円
-----	---------	----	---------

[本体価格 40,000円 本体価格 43,000円]

*会員企業一覧は以下の当会のホームページにて、ご確認いただけます。http://www.bri.or.jp

申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あて FAX または E-mailにてお送りください。

折り返し、受講票・会場地図・請求書をお送り致します。

※お申込後のキャンセルは原則としてお受けしかねますので、お申込者がご出席頂けない際は、代理の方のご出席をお願い申し上げます。

●申込先

一般社団法人 企業研究会 経営管理研究グループ

担当)居代 E-mail:ishiro@bri.or.jp

〒102-0083 千代田区麹町 5-7-2

TEL 03-5215-3516/FAX 03-5215-0951~2

181660-0202		7/24 海外リスク対応の内部監査の戦略と進め方	
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職	フリガナ お名前		
e-mail			
部課 役職	フリガナ お名前		
e-mail			

第1部： 海外リスク対応のために内部監査は何をしたらよいか

10:00

—日本企業の海外リスク対応の課題と内部監査のあり方

海外リスクをめぐる今日的な経営課題を前に、内部監査は何ができるのでしょうか。海外監査の進め方という本題に入る前に、何のために何をしに海外に監査に出かけるかという点を検討します。

これはどのような監査対応で経営に貢献するかという監査戦略の話であって、企業のガバナンスや経営管理への貢献という点で監査を見直すきっかけになればと思います。

11:10

休憩

1. 日本企業に見られる海外子会社のガバナンスの課題

2. 日本企業によるこれまでの海外内部監査の特徴と今後の課題

3. 海外監査における経営監査の切り口と対応方法の例

- ・現地子会社のコンプライアンス体制の監査
- ・CSA を活用した親会社によるモニタリングの監査
- ・ビジネス・モデルで考える経営監査の視点
- ・統制環境・企業風土への監査対応

12:30

昼食

休憩

13:20

第2部： 失敗しない海外監査の進め方

1. 海外監査のグランドデザイン —海外往査の事前検討のポイント

海外監査の往査計画を立てるに際して、事前に検討しておくべき事項を一通り説明します

- ・監査モデルの検討、チーム編成・外部人材の活用や外注の扱い、現地との事前アレンジ、作業ステップと日程管理、監査アプローチ、データ分析の活用など

14:40

休憩

14:50

2. 海外監査で対応に困る、または見過ごしやすい特徴的な問題対応

- ・国内監査とは勝手が違う海外監査の留意点
- ・海外固有の問題で特に注意しておきたい指摘事項・改善提案の事例解説
—海外固有の職務分離、利益相反、人事労務関連その他—

3. 海外監査の監査報告の課題と対応

- ・海外監査における監査報告会の実務課題と対応策
- ・監査報告書の様式と報告作業の段取り

16:10

休憩

16:20

4. 海外監査の成熟度に応じた監査体制構築のポイント

これまでの話のまとめとして、海外監査の成熟度に応じた発展モデルを提示し、中長期的な視点から将来を見据えた海外監査の体制づくりについて検討します。

- ・監査組織、人材、ナレッジ、監査手法等の面から出張型監査からグローバル監査までを解説

16:40

<質疑応答&意見交換> 講義をベースに質疑応答および自由な意見交換の場を設けます。

17:00

* 内容は若干変更する場合があります。予めご承知おきます。

◆ 2018年8月30日開催予定「英文監査報告書の実務とビジネス英語の作法」(仮)

海外監査に欠かせない英文監査報告書の実務は、英文レポートの事例紹介や海外でしか見られない指摘や改善提案の例など事例満載で、監査で使うビジネス英語の解説と共に昨年も好評でした標記のセミナーを今年も8月30日午後開催予定です。英文での監査実務に興味がある方はぜひ併せてご参加ください。ご案内等ご希望の方は裏面の担当までご一報ください。